

## 平成27年11月12日定例教授会議事抄録

### 出席者

高見澤所長

池本，板倉，鎌田，菅，高橋，田中，長澤，名和，平勢，榊屋，松田，真鍋，安富の各教授

青山，李，池亀，小寺，鍾，馬場，森本の各准教授

### 海外渡航者

大木，佐藤，園田，中島の各教授、塚本，シルツの各准教授

議事に先立ち11月1日付けにて採用となった葛特任教授から挨拶があった。

### 議事

10月8日開催の教授会の議事抄録を承認した。

### 通知事項

1. 教員等の公募について、資料P7のとおり5件。
2. 各種研究助成等の募集について、資料P8のとおり2件。

### 報告事項

#### 3. 所長報告

高見澤所長から、以下の会議等について報告があった。

##### 1) 科所長会議（10月20日）

###### ①東京大学ビジョン2020

資料P10～17に基づき、学内各会議での了承を経て、先月22日に公表された旨報告があり、基本理念、研究・教育・社会連携・運営面におけるビジョン、これを具現化するためのアクション等概要説明があった。

###### ②卓越した若手の活躍促進や多様性確保のための研究者の雇用安定化に向けた取り組み

資料P18～24に基づき、優秀な若手教員等のポスト確保、雇用安定化の促進等のため、新たに部局経費を財源とした承継教員の採用承認制度の導入、来年度より国が導入を検討している卓越研究員制度の活用等を通じて、若手教員等の雇用環境の抜本的改善への取り組みを推進したいとの説明があった旨報告があった。

###### ③新学内配分制度

部局運営に最低限必要な経費を把握したうえ、新たな学内配分方式を検討している旨報告があった。

④平成27年度冬季における期末・勤勉手当等

資料P25に基づき、昨年度と同水準の支給割合となる旨報告があった。

⑤平成27年度における昇給の取扱い

資料P26に基づき、今年度における教職員の昇給の取扱い等について報告があった。

2) 科所長会議(11月10日)

①平成27年度理事等の分担

資料P28に基づき、新たに総長裁定にて特定の事項に係る大学法人業務を掌理する大学執行役を置くこととし、副学長3名が任命された旨報告があった。

②東京大学における教員の任期に関する規則の一部改正

資料P29～30に基づき、前回、前々回教授会にて新たに設置することが承認された新世代アジア研究部門の准教授ポスト及び国際学术交流室の助教ポストが含まれている旨報告があった。

③オープンキャンパス及び「東大の研究室をのぞいてみよう！」プログラムの実施報告

資料P31～33に基づき、8月に実施された同行事の実施概要について報告があった。

④教職員過半数代表者の選出にかかる協力依頼

資料P34～35に基づき、例年同様、本郷事業場過半数代表者の選出が行われるため、協力をお願いしたい旨報告があった。

3) 前期課程基礎科目 初年次ゼミナール文科開講について

資料P36～37に基づき、本研究所が学部教育前期課程に参画する「全学自由研究ゼミナール」「学術フロンティア講義」に加え、教養学部から初年次ゼミナール文科について、開講希望の照会が来ている旨報告があり、出講希望がある場合は申し出いただきたいこと、本研究所として最低1講座は開講したい意向であるため、希望者がなかった場合は、個別に依頼させていただきたいこと等説明があった。

4) その他

①来年1月22日に本研究所において成均館大学校東アジア研究院・京都大学人文科学研究所との共催合同シンポジウムが開催されるため、可能な範囲内で出席いただきたい旨要請があり、続けて、本シンポジウムの発表者等が決定したこと、真鍋教授、後藤特任准教授を中心に準備を進めていること等報告があった。

②復旦大学文史研究院、プリンストン大学東アジア学部との第5回国際シンポジウムが来月14日～15日に復旦大学において開催され、本研究所からは自身のほか、板倉教授、羽田教授、平勢教授、塚本准教授の計5名が出席予定である旨改めて報告があった。

③フランス社会科学高等研究院(EHESS)及び復旦大学文史研究院との学术交流協定に基づく交換研究員派遣について、次年度は羽田教授、松田教授をそれぞれ派遣することとした旨報告があり、復旦大学文史研究院については、あと1名派遣者が

必要なため、引き続き派遣希望者を募る旨説明があった。

④新世代アジア研究部門の教員ポストについて、現行の「新世代アジア研究領域」(再任不可) ポストに加えて、新たに「再任可」ポストを設置したい旨説明があり、次回教授会にて教員の任期に関する規則等の改正に係る提案、審議を行う予定であるため、適切なポスト名(研究領域)があれば提案いただきたい旨要請があった。

⑤自己点検・評価セミナーにおいてコメンテーターが学外者であった場合の今後の旅費、謝金の取扱いについて、旅費は被評価教員負担、謝金は所長裁量経費負担とする旨報告があった。

#### 4. 各委員会報告

##### 1) 財務委員会

名和委員長から、資料P 38～39に基づき、今年度予算の執行状況について説明があり、計画的に執行するよう要請があった。続いて、資料P 40に基づき、来年度の所内予算について、かなり厳しい対応を迫られることになるが、予算案の作成スケジュールは例年と同行程で実施する予定であること、情報学環所属の流動教員に対する教育研究費の配分があったこと、新学内配分制度への対応について粛々と行うこと等報告があった。

##### 2) インフラ委員会

高橋委員長から、当初予定のとおり、教育学研究科に対して208号室を来年2月から28年度末まで貸与することとなった旨報告があった。続いて、高見澤所長から、研究所建物の維持管理、保全等のため、建物管理に係る規程の制定を検討いただきたい旨要請があった。

##### 3) 情報・広報委員会

池本委員長から、10月17日に開催した今年度公開講座に計112名(実数)(午前の部: 87名、午後の部: 74名)の聴講者があったこと、次回教授会にてアンケート結果の報告を行うこと等報告があり、続けて、本日14時より新任者、希望者向けの業績データベース講習会を開催する旨案内があった。

##### 4) 研究企画委員会

休会のため特になし。

##### 5) 図書委員会

安富委員長から、別添資料に基づき、前回教授会にて協力要請した部局経費により購入する雑誌等の平成29年度以降の継続希望調査について、引き続き回答に協力いただきたいこと、各構成員の協力により、図書室で購入する参考図書・基本図書の選定に目処が付いたこと等説明があった。続いて、アジア研究図書館整備においてイニシアティブを発揮していくため、研究所全体で取り組む必要があること、具体的な問題として雑誌の配架先の検討を要する旨報告があった。今後、図書委員会で論点を整理し、教授会懇談会で検討していくことになった。

## 6) その他

①高見澤所長から、次回教授会開催日の午後はハラスメント防止研修会、葛特任教授の着任研究会、国際総合日本学（GJS）講演会、創立記念パーティと立て続けに行事が予定されている旨報告があった。

②松井防災委員会副委員長（事務長）から、10月13日に実施した総合研究博物館との平成27年度合同防災訓練について、実施概要、次年度に向けての改善事項等報告があった。

## 5. その他

①菅副所長（ハラスメント防止担当者）から、次回教授会開催日の午後、13時15分より今年度採用者または過去3年間未受講の教職員を対象としたハラスメント防止研修会を開催する旨案内があった。

②菅副所長から、先月末に第2期中期目標期間（平成22年度～平成27年度）における国立大学法人評価受審のための第1回目の調書提出を行った旨報告があり、今年度末に第2回目、来年5月に最終版の調書提出が予定されているため、引き続き業績データベースへの業績登録に協力いただきたい旨要請があった。

③森本レクレーション委員から、次回教授会開催日の夕刻に開催する創立記念パーティについて、忘年会を兼ねて開催する旨案内があった。

④高見澤所長から、年末年始の行事に関して、12月28日の年内最後の業務日には年末挨拶等、特に予定していないこと、1月4日11時45分から仕事始めの年頭挨拶を行う予定であること等案内があった。

## 審議事項

### 6. 教員の海外渡航について

該当教員から（大木教授は高見澤所長から）説明があり、資料P41～42のとおり8件を承認した。

### 7. 委員等の応嘱について

該当教員から説明があり、資料P44～45のとおり6件を承認した。なお、高見澤所長から、田中教授申請分について、前所属機関からの委嘱委員等を継続するものである旨補足があった。

### 8. 非常勤講師等の応嘱について

高見澤所長から柳特任助教申請分2件について、資料P46に基づき説明があり、承認された。

### 9. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員から説明があり、資料P47のとおり1件を承認した。

### 10. 教授会における「海外渡航」の取扱いについて

高見澤所長から、資料P48に基づき、本研究所教員の海外渡航に係る取扱いについて、従前、海外出張・研修においては例外なく審議案件としてきたが、昨今の通信

技術の進歩に伴い、研究所運営に支障を来す状況が減少していること、他部局の取扱い状況等を考慮し、1ヶ月以上の長期に渡る渡航については、従前どおり審議案件とするが、1ヶ月未満の渡航については、教授会当日、入試日程と渡航期間が重なる等の場合を除き、資料確認のみの報告案件に改めたい旨提案があり、承認された。

#### 11. 教員人事について

①高見澤所長から、新世代アジア研究部門（英文ジャーナル担当）の国際公募による准教授選考について、10件の応募があったこと、書類審査の結果、最終（面接）選考候補者があった場合、1月上旬に同委員会を実施、選考を実施する予定であること等報告があった。

②高見澤所長から、今年度末で任期満了となる情報学環流動教員である園田教授について、平成28年4月1日～平成29年3月31日の1年任期にて引き続き同教員に依頼したい旨提案があり、承認された。

③高見澤所長から、国際学術交流室（国際総合日本学教育研究ネットワーク構築プロジェクト担当）特任助教候補者選考について、選考委員会において検討の結果、公募は実施せず、同委員会にて候補者を選定したうえ、次回教授会にて推薦、審議いただくことを予定しており、この審議には教授会構成員総数の3分の2以上の出席が必要条件となるため、既に海外渡航等の予定がある場合を除き、必ず出席していただきたい旨要請があった。

④高見澤所長から、前回教授会にて名和汎アジア研究部門（文化人類学）選考委員長から提案があり、継続審議となった公募による人事選考の実施について、総務委員会で検討の結果、同委員会での検討結果を尊重し、了承することとしたい旨意向が示され、承認された。なお、同選考委員長から、応募者の中に適任者がなければ、候補者の推薦を行わないという選択肢も有り得る旨補足があった。また、公募実施にあたり、募集要項で研究対象地域が分かるようにすることが確認された。

⑤高見澤所長から、国際学術交流室の張助教が今年度を以て辞職することとなったことに伴い、後任人事を行いたい旨提案があり、了承された。

#### 12. その他

特になし。

以上